



NEWS RELEASE

報道機関の皆様へ

2019年10月16日

入試広報部

岡山理科大学と東京理科大学発ベンチャー企業が プログラミング教育で教育連携協定を締結 —プログラミングのプロフェッショナル育成に向けて連携—

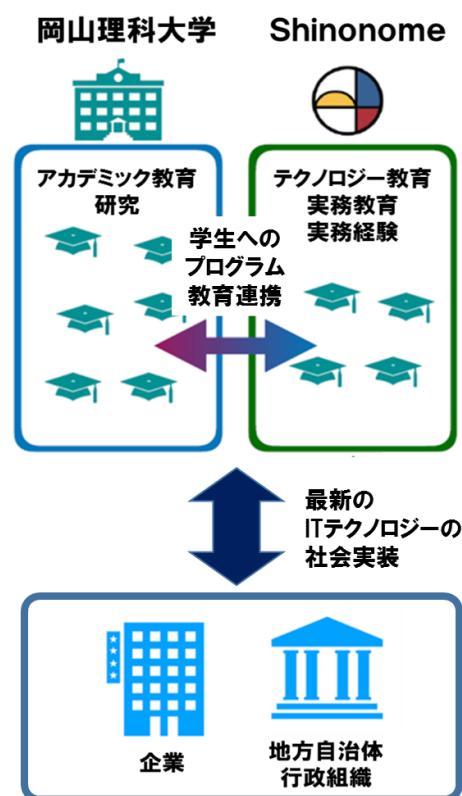
学生への多様なプログラミング教育の場を提供する目的で、岡山理科大学と東京理科大学発ベンチャー企業の株式会社 Shinonome（※）が教育連携協定を締結しました。この協定により、本学内に学生が無料でプログラミングを学ぶ場を設置し、学生のプログラミングのスキルアップができるだけでなく、志の高いクリエイタの育成や、企業との連携による社会へのアウトプット（最新の IT テクノロジーの社会実装）が可能となります。

本学では従来から、総合情報学部をはじめとする各学部で、学生の AI、IoT 関連技術のスキルアップを目的とした教育を実施しておりましたが、より柔軟で広範な教育の機会を提供できる仕組みを模索していました。しかし、IT 業界のプログラム開発は、開発現場でないと得られない内容が多いため、大学内では経験させることが容易ではありませんでした。

この度、本学と株式会社 Shinonome が教育連携協定を結び、オンラインでのプログラミング教育と、それをベースにした企業のプログラム開発を実践できる取り組みを開始いたしました。これにより、多くの学生がプログラム開発の実践を経験し、よりレベルの高いプロフェッショナルな技術者を目指すことができます。

一方、株式会社 Shinonome は、東京理科大学での実績を活かして、より多くの学生へのプログラミング教育と企業連携の場づくりを進めており、既に学生が中心となった企業との連携が始まっています。そのなかで東京理科大学以外の大学との連携は、岡山理科大学が初となります。

この教育連携を基に、本学は学生に実践的なプログラミング教育の場を提供し、学生の成長と地域に貢献できる人材育成を図ります。





NEWS RELEASE

■岡山理科大学総合情報学部学部長の北川文夫教授のコメント：

株式会社 Shinonome との連携で、学生が IT 分野の中から興味あるものを選んでオンラインで学習でき、プロの IT 技術を身につけられるのは魅力です。加えて、技術レベルが上がれば現実の企業のプログラムやアプリの開発に参加できるようになります。これは、学生にとって大きなインセンティブになります。また、どの学年の学生でも参加できるので、個々の学生の成長に合わせて参加できるというメリットがあります。プロのソフトウェア開発に触れられる、この連携に期待しています。

■株式会社 Shinonome の共同創業者 CTO 高橋弘至 氏のコメント：

現在日本国内では、体系的な IT テクノロジー面での専門的な支援、教育の仕組みはほとんどありません。私たちは、各地の大学内に教育の場を設けさせていただき、地元の学生に IT テクノロジー教育を行いつつ、その周辺企業や自治体を巻き込んだ新たな形の地方創生モデルを提案しています。東京理科大学以外では岡山理科大学との連携が初めてのケースになりますが、東京理科大学での実績を活かして岡山理科大学と地域に根ざした活動を進められる事を楽しみにしています。

(※) 株式会社 Shinonome

2016 年に東京理科大学インベストメント・マネジメントからの支援を受け設立された東京理科大学発のベンチャー企業です。東京理科大学オープンカレッジ内にオフィス及びコラボレーション・スペースを設け、学生向けのプログラミング教育と企業連携の場を提供しています。



教育連携を誓う岡山理科大学学長の柳澤康信 氏（中央）、株式会社 Shinonome の共同創業者 CTO の高橋弘至 氏（右）と総合情報学部学部長の北川文夫教授（左）

◆本資料に関するお問い合わせ先：研究・社会連携部（電話 086-256-9731）